

「ルーブル美術館展 地中海 四千年のものがたり」(東京都美術館/7月20日から9月23日)の開催、そして南仏の都市マルセイユがヨーロッパ文化首都に指定されたのを記念し、古来より東西文明の要衝であり、有史以来異文化交流を通じて独自の文明築いてきた地中海の国々の映画作品を紹介します。地中海沿いにある南仏の町、ラ・シオタで産声を上げた映画は、それ以降も地中海をめぐる、多くの傑作を残しています。リュミエールから始まり、ルノワール、パニョル、ヴィゴ、ヴァルダ、ドゥミ、ロジエ、ボレ、ドゥニ、ザイメッシュらがフィルムにおさめてきた地中海沿岸の南仏の光、人々の表情や言葉、ドラマをご覧ください。そして地中海沿岸の国々、イタリア、ポルトガル、イスラエル、トルコ、エジプト、レバノン、それぞれの国の優れた監督たちの作品を選びすぐてご紹介します。

特別ゲストには、『身をかかわして』、『クスクス粒の秘密』などでセザール賞を獲得し、最新作『アデルの人生』(仮)が2013年カンヌ映画祭で見事パルム・ドールを受賞したアブデラティフ・ケシシュをお迎えします。ケシシュはジャン・ルノワールやモーリス・ピアラを継承する監督の一人と評され、人間の生、性へのおおらかな視線を持ち、俳優たちを誰よりも生き生きと演出する監督としてフランス映画界でもその才能が最も期待されている監督のひとりです。

是非、ケシシュ監督の世界をこの機会に見てください。

# FESTIVAL DU FILM MÉDITERRANÉEN 2013



Du côté de la côte d'Agnès Varda

À l'occasion de la grande exposition « Méditerranée » du Louvre au Tokyo Metropolitan Art Museum en 2013 et de la sélection de Marseille-Provence comme capitale européenne de la culture en 2013, ce festival dédié au cinéma méditerranéen propose un panorama des films tournés dans les pays francophones du bassin méditerranéen ou ayant trait à la Méditerranée. Cette région, à la croisée de plusieurs cultures, a inspiré de nombreux réalisateurs et nul besoin de rappeler que le cinématographe est né à la Ciotat, dans le Sud de la France, avec la caméra des frères Lumière.

L'Institut français du Japon présentera un programme autour d'Abdellatif Kechiche, cinéaste français d'origine tunisienne. Abdellatif Kechiche a obtenu le César du meilleur film pour ses films *L'Esquive*, *La Graine et le Mulet* et il vient de remporter la Palme d'or avec son dernier film, *La Vie d'Adèle* au dernier Festival de Cannes. Considéré comme le digne successeur de Jean Renoir et de Maurice Pialat, il porte un regard généreux sur la vie et la sexualité.

\*この特集はアンスティチュ・フランセ日本の他の支部、横浜、関西、九州に巡回予定です。  
 横浜: 9月28日(土)、10月12日(土)、11月9日(土)・・・会場: 東京藝術大学(横浜・馬車道校舎)  
 福岡: 10月5日(土)~10月11日(金)・・・会場: KBCシネマ  
 関西: 今秋開催予定・・・会場: 梅田ガーデンシネマ、京都シネマ

La circulation de ce programme est prévue à Yokohama ainsi que dans le Kansai et dans le Kyushu :  
 Yokohama : le 28 septembre, 12 octobre et le 9 novembre à Geidai (Yokohama, Bashamichi)  
 Fukuoka : du 5 au 11 octobre à KBC Cinéma  
 Kansai : cet automne à Umeda Garden Cinéma et à Kyoto Cinéma

## CALENDRIER 上映スケジュール

第1部: 2013年8月30日(金)~9月15日(日)

8月30日(金)	13:00	ブレット・ナンバーワン <i>Bled Number One</i> (97分)
	15:45	男として死ぬ <i>Mourir comme un homme</i> (134分)
	19:00	美しい仕事 <i>Beau travail</i> (90分)
8月31日(土)	13:00	永遠の語らい <i>Un film parlé</i> (95分)
	15:30	キャラメル <i>Caramel</i> (96分)
	18:00	マルメロの陽光 <i>Le Songe de la lumière</i> (139分)
9月1日(日)	12:00	キャラメル <i>Caramel</i> (96分)
	14:30	永遠の語らい <i>Un film parlé</i> (95分)
	17:00	アレキサンドリアWHY? <i>Alexandrie pourquoi?</i> (133分)
9月6日(金)	17:00	ブレット・ナンバーワン <i>Bled Number One</i> (97分)
	19:30	五月の雲 <i>Nuage de mai</i> (120分)
9月7日(土)	12:15	アレキサンドリアWHY? <i>Alexandrie pourquoi?</i> (133分)
	15:30	エルドラド(予定) <i>El Dorado</i> (88分)
	18:00	トニ <i>Toni</i> (90分)
9月8日(日)	12:00	トニ <i>Toni</i> (90分)
	14:30	エルドラド(予定) <i>El Dorado</i> (88分)
	17:00	男として死ぬ <i>Mourir comme un homme</i> (134分)
9月14日(土)	10:30	僕の心の奥の文法(予定) <i>La Grammaire intérieure</i> (107分)
	13:20	五月の雲 <i>Nuage de mai</i> (120分)
	16:20	ラ・シオタ駅への列車の到着 <i>L'Arrivée d'un train à la Ciotat</i> (45分) サイコ城の秘密 <i>Les Mystères du Château du dé</i> (26分) 地中海 <i>Méditerranée</i> (43分)
9月15日(日)	18:30	アポロンの地獄 <i>Édipe roi</i> (104分)
	11:30	ニースについて <i>À propos de Nice</i> (31分) ブルー・ジーンズ <i>Blue Jeans</i> (22分) ハルドー・ゴダール <i>Le parti des choses: Bardot et Godard</i> (8分) パパラッツィ <i>Paparazzi</i> (18分)
	13:45	マルメロの陽光 <i>Le Songe de la lumière</i> (139分)
	17:00	コート・ダジュールの方へ <i>Du Côté de la côte</i> (27分) 天使の入り江 <i>La Baie des anges</i> (80分)

- プログラムはやむを得ぬ事情により変更されることがありますが予めご了承ください。
- 入場料: 会費500円/学生800円/一般1,200円
- 当日の1回目の上映の1時間前より、すべての回のチケットを発売します。開場は20分前。全席自由、整理番号順での入場とさせていただきます。

Tarifs d'entrée aux projections  
 ● Adhérents : 500 yens, étudiants : 800 yens, non-adhérents : 1200 yens  
 ● Les billets sont mis en vente 1 heure avant la 1<sup>ère</sup> séance de la journée, ouverture des portes 20mn avant la séance.

第2部: アブデラティフ・ケシシュ特集 2013年10月20日(日)・26日(土)・27日(日)

10月20日(日)	10:30	身をかかわして <i>L'Esquive</i> (117分)
	13:30	クスクス粒の秘密 <i>La Graine et le mulet</i> (153分)
	17:00	黒いヴィーナス <i>Vénus noire</i> (164分)
10月26日(土)	10:30	ヴォルテールのせい <i>La Faute à Voltaire</i> (130分)
	13:30	黒いヴィーナス <i>Vénus noire</i> (164分)
	17:30	身をかかわして <i>L'Esquive</i> (117分)
10月27日(日)	10:30	ヴォルテールのせい <i>La Faute à Voltaire</i> (130分)
	13:30	身をかかわして <i>L'Esquive</i> (117分)
	16:30	クスクス粒の秘密 <i>La Graine et le mulet</i> (153分)

アブデラティフ・ケシシュ監督によるティーチ・イン予定! ※日時はお知らせします

「地中海映画祭」  
 主催: アンスティチュ・フランセ日本  
 協賛: アンスティチュ・フランセパリ本部  
 オフィシャルパートナー: ロクシタン ジャパン株式会社、香川日仏財団、EU・ジャンフェスト日本委員会、ルーブル美術館  
 協力: ユニフランス・フィルムズ、駐日イスラエル大使館、スペイン国際協力開発機構(AECID)フィルムテカ、セルバンテス文化センター東京、コムストック・グループ、Dot Dash、エルメスジャパン株式会社、東京フィルムメックス、東京国際映画祭事務局  
 フィルム協賛/協力: シュミエール協会、アウラ、アルシネラン、セテラ・インターナショナル、シネマトリックス、シネタリス、コム・フィルムズ、ドゥニエール・ドゥ・フィルム、ユ・ロス・ベース、ゴモン、国際交流基金、JASPAR-SPDA、エルサレム・シネマテーク、ボム・フィルム、ルソムンド、SN、ユナイテッド・キング  
 字幕協力: アネ・フランセ文化センター

Festival du film méditerranéen 2013  
 organisé par l'Institut français du Japon  
 partenaires officiels : l'Occitane, Fondation franco-japonaise Sasakawa, EU-Japan Fest Japan Committee, Exposition la Méditerranée dans les collections du Louvre  
 avec le soutien de : Institut français, uniFrance Films, Ambassa de d'Israël, Filmoteca Agencia Española de Cooperación Internacional para el Desarrollo (AECID), Instituto Cervantes de Tokio, Comstock Group, Dot Dash, HERMES JAPON CO., LTD., TOKYO FILMeX, Tokyo International Film Festival.  
 merci à : Association frères Lumière, Aura, alcinéterrann, Centre Culturel de l'AthénéeFrançais, Cetera International, Cinematix, Ciné-lamaris, Compagnie méditerranéenne de Film, Dot Dash, Eurospace, Gaumont, Japan Foundation, JASPAR-SPDA, Jerusalem Cinémaheque, P.O.M. Films, Lusumundo, SNC, United King.

会場・お問い合わせ アンスティチュ・フランセ東京(旧東京日仏学院)  
 〒162-8415 東京都新宿区市谷船河原町15  
 tel: 03-5206-2500 fax: 03-5206-2501 www.institutfrancais.jp



アンスティチュ・フランセの映画部門は、フランス映画の遺産の紹介と近年製作された非商業的な作品の普及を行っています。そして、シネマテーク・アフリック、カンヌ映画祭での「世界の映画たち les Cinémas du Monde」というパビリオン、そしてCNC(フランス国立映画センター)と共同で行っている支援を通じて、アフリカを中心とした発展途上国の映画の振興・普及に努めています。

アンスティチュ・フランセは、海外でのフランスの文化活動を担っているフランス外務省の外郭団体です。

SPECTACLE VIVANT / ARTS VISUELS / ARCHITECTURE  
**CINÉMA** / LIVRE / PROMOTION DES SAVOIRS  
 SAISONS CULTURELLES / LANGUE FRANÇAISE  
 RÉSIDENCES / COOPÉRATION AVEC LES PAYS DU SUD

INSTITUT FRANÇAIS

L'Institut français est l'opérateur du ministère des Affaires étrangères pour l'action culturelle extérieure de la France. [www.institutfrancais.com](http://www.institutfrancais.com)



# 地中海映画祭 2013

特別ゲスト: アブデラティフ・ケシシュ(2013年カンヌ国際映画祭パルム・ドール受賞監督)

第1部: 2013年8月30日(金)~9月15日(日)  
 第2部: 2013年10月20日(日)・26日(土)・27日(日)  
 会場: アンスティチュ・フランセ東京

1<sup>ère</sup> partie du 30 août au 15 septembre 2013  
 2<sup>ème</sup> partie les 20, 26 et 27 octobre  
 à l'Institut français du Japon - Tokyo

IF 2013 JAPON MÉDITERRANÉE 地中海の世界

INSTITUT FRANÇAIS  
 アンスティチュ・フランセ東京  
 JAPON - TOKYO



**ラ・シオタ駅への列車の到着**  
*L'Arrivée d'un train à la Ciotat de Louis Lumière*  
 1897年 / フランス / 45秒 / モノクロ / サイレント / デジタル・ベータカム  
 撮影: ルイ・リュミエール  
 出演: ジャンヌ=ジョゼフィン・リュミエール、ローズ・リュミエール、マルグリット・リュミエール、アンドレ・リュミエール、ジュザヌ・リュミエール



**サイコロ城の秘密**  
*Les Mystères du Château du dé de Man Ray*  
 1929年 / フランス / 26分 / モノクロ / 日本語字幕 / デジタル・ベータカム  
 監督: マン・レイ  
 出演: シャール・ドゥ・ノアイユ、マリ=ロール・ドゥ・ノアイユ、ジャック=アンドレ・ポワフォー、マン・レイ



**ニースについて**  
*À propos de Nice de Jean Vigo*  
 1930年 / フランス / 31分 / モノクロ / サイレント / 35mm  
 監督: ジャン・ヴィゴ



**トニ**  
*Toni de Jean Renoir*  
 1935年 / フランス / 90分 / モノクロ / 英語字幕 / 35mm  
 監督: ジャン・ルノワール  
 出演: シャール・ブラヴェット、セリア・モンタルヴァン、マックス・ダルバン、ジェニー・エリア



**コート・ダジュールの方へ**  
*Du côté de la côte d'Agnès Varda*  
 1958年 / フランス / 27分 / モノクロ / 英語字幕 / 35mm  
 監督: アニエス・ヴァルダ  
 出演: ロジェ・コンジョ(ナレーター)

リヴィエラ、その異国情緒の雰囲気や観光地的、カーニヴァルやエデンの園的色彩が際立つ、フランスの地中海沿岸のコート・ダジュールについての美しいエッセイ。一日の終わりに、海岸のカラフルなパラソルがジアルジュ・ドゥルヴィアの美しいシャノンとともに閉じられる。「短作『ラ・ポワント・クール』の3年後に撮られたこのドキュメンタリーは、両親のアルバムの中に見つかった昔の写真のような古めい魅力がある。洋服の色彩や風景の穏やかなる美しき、豪華な邸宅、地中海のコバルブルーなどは失楽園を思わせるだろう。(ジャン=マリ・デュラン / 'レ・サンロキュアティール。)



**ブルー・ジーンズ**  
*Blue Jeans de Jacques Rozier*  
 1958年 / フランス / 22分 / モノクロ / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: ジャック・ロジエ  
 出演: ルネ・フェロ、フランシス・ド・ベレッティ、エリザベット・ラル、ヘンリー・コーディング



**パパラッツィ** (8分)  
*Paparazzi de Jacques Rozier*  
 1963年 / フランス / モノクロ / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: ジャック・ロジエ  
 出演: プリジット・バルドー、ジャン=リュック・ゴダール、ブリット・ラング、ジャック・バランズ、ミシェル・ゴッリ



**天使の入江**  
*La Baie des anges de Jacques Demy*  
 1962年 / フランス / 80分 / モノクロ / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: ジャック・ドゥミ  
 出演: ジャンヌ・モロー、クロード・マン、ポール・ゲール、アンナ・ナシエ



**地中海** *Méditerranée de Jean-Daniel Pollet*  
 1963年 / フランス / 43分 / カラー / 日本語字幕 / デジタル・ベータカム  
 監督: ジャン=ダニエル・ポレ(協力: フォルカー・シュレンドルフ) テキスト: フィリップ・ソレルス、音楽: アントワヌ・デュアメル

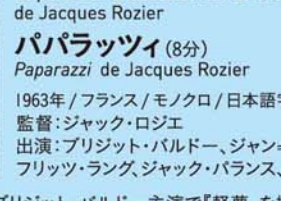


**エルドラド**  
*El Dorado de Menahem Golan*  
 1963年 / イスラエル / 88分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: メナヘム・ゴラン  
 出演: トボル、ジラ・アルマゴール

真つ当な生活を送ろうとするもの、過去のしらみに巻き込まれてゆく男、そして彼に惹かれるふたりの女、娼婦と弁護士との愛の奪い合いが描かれたフィルム・ノワールの傑作。「この作品には、夜の闇に潜り込んで目に見えないライオンが引かれている。劇場やナイトクラブ、ブティックが建ち並ぶ華麗な新都市テル・アビブと、これに隣接する古代都市ヤッファ。登場人物たちは双方の都市を行き来するが、下層階級という扱いを受けているヤッファの人々は、夜になると、海岸線につながるテル・アヴィヴの夜景を嘆息まじりに眺める。」(荻野洋一)



**アレキサンドリア WHY?**  
*Alexandrie pourquoi? de Youssef Chahine*  
 1978年 / エジプト / 133分 / モノクロ / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: ユセフ・シャヒーン  
 出演: モフセン・モヒーディーン、マフムード・メリーギ、モアセン・ダウフイク、ナグラ・ファトヒ



**マルメロの陽光**  
*Le Songe de la lumière de Victor Erice*  
 1992年 / スペイン / 139分 / カラー / 英語字幕 / 35mm  
 監督: ビクトル・エリセ  
 出演: アントニオ・ロペス=ガルシア、マリア・ロペス、カルメン・ロペス、マリア・モレノ、エンリケ・ゲラン、ホセ・カルテルロ、エリザベリス



**男として死ぬ**  
*Mourir comme un homme de Joao Pedro Rodrigues*  
 2009年 / ポルトガル / 134分 / カラー / 日本語字幕 / ブルーレイ  
 監督: ジョアン・ペドロ・ロドリゲス  
 出演: フェルナンド・サントス、シャンドラ・マラティッチ、シンディ・スクラッシュ



**五月の雲**  
*Nuage de mai de Nuri Bilge Ceylan*  
 1999年 / トルコ / 120分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: ヌリ・ビルゲ・ジェイラン  
 出演: M.エミン・ジュライン、ムザファア・オズデミル、ファトマ・ジェイラン、M.エミン・トブラック



**僕の心の奥の文法**  
*La Grammaire intérieure de Nir Bergman*  
 2010年 / イスラエル / 107分 / カラー / 日本語字幕 / DVカム  
 監督: ニル・ベルグマン  
 出演: ロイ・エルスベルグ、オルリ・ジルベルシャッツ、イェフダ・アルマゴール、エヴリン・カプルン、ヤエル・スゲレスキー、リフカ・グル

1963年イスラエル。東の間の平和な時期を背景に、数年前から成長することをやめた少年アーロン。両親とも新世代の若者とも相容れない繊細な心を持つ少年アーロンは、大人になると拒むように成長することをやめよう。バラバラな家族に反抗するため、それはいつか抵抗するため? コミカルな要素も加えながら、思春期の心の揺れを寓話的に描く。『私はいつも国家や社会を描くためには、個人の物語を語ることに、家族のなかでの関係というのを見せるのが有効だと思います。』(ニル・ベルグマン) 2010年東京国際映画祭グランプリ受賞作品。



**ブレッド・ナンバー・ワン**  
*Bled Number One de Rabah Ameur-Zamech*  
 2006年 / フランス=アルジェリア / 97分 / カラー / 英語字幕 / 35mm  
 監督: ラバ・アメール・ザイメッシュ  
 出演: ラバ・アメール=ザイメッシュ、メリエム・セルバ、アベル・ジャフリ



**キャラメル** *Caramel de Nadine Labaki*  
 2007年 / レバノン=フランス / 96分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: ナディーン・ラバキ  
 出演: ナディーン・ラバキ、ヤスミン・アル=マズリー、ジョアナ・ムカルゼル、ジゼル・アウワード、シハム・ハッダード



**ヴォルテールのせい** *La Faute à Voltaire d'Abdellatif Kechiche*  
 2000年 / フランス / 130分 / カラー / 英語字幕 / 35mm  
 出演: サミ・ブアジラ、エロディー・ブシェーズ、オール・アディカ



**身をかわして** *L'Esquive d'Abdellatif Kechiche*  
 2004年 / フランス / 117分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 出演: サラ・フォレストイエ、オスマン・エルカラス、サブリーナ・ウアザニ



**クスクス粒の秘密** *La Graine et le mulet d'Abdellatif Kechiche*  
 2007年 / フランス / 153分 / カラー / 日本語字幕 / ブルーレイ  
 出演: アビバ・ブフォー、アフシア・エルシ、ファリダ・バンケタッシュ

2000年に長編三作目『クスクス粒の秘密』でも日常生活を生き生きと描き、そこから豊かな物語を生み出す才能を再び発揮し、ヴェネツィア映画祭で審査委員特別賞、国際映画批評家連盟賞など数々の賞を受賞し、主演女優のアフシア・エルシはマルチェロ・マストロヤンニ賞(新人俳優賞)を受賞する。セザール賞でも3年前に引き続き再び作品賞、監督賞、脚本賞の3部門を受賞するという快挙を成し遂げる。2010年、初めての時代劇となる『黒いヴィーナス』を発表し、ヴェネツィア映画祭に出品、話題を呼ぶ。2013年、ジュリ・マロの漫画『青は熱い色』を映画化した『アデルの人生(仮)』が第66回カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品。何年かに渡るふたりの女性の情熱的な愛の物語を描く同作は、その年のカンヌの批評家たちがほぼ全員一致で評価し、見事パルム・ドールを受賞した。



**パルドー/ゴダール** (18分)  
*Le parti des choses: Bardot et Godard de Jacques Rozier*



**アレキサンドリア WHY?**  
*Alexandrie pourquoi? de Youssef Chahine*  
 1978年 / エジプト / 133分 / モノクロ / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: ユセフ・シャヒーン  
 出演: モフセン・モヒーディーン、マフムード・メリーギ、モアセン・ダウフイク、ナグラ・ファトヒ



**マルメロの陽光**  
*Le Songe de la lumière de Victor Erice*  
 1992年 / スペイン / 139分 / カラー / 英語字幕 / 35mm  
 監督: ビクトル・エリセ  
 出演: アントニオ・ロペス=ガルシア、マリア・ロペス、カルメン・ロペス、マリア・モレノ、エンリケ・ゲラン、ホセ・カルテルロ、エリザベリス

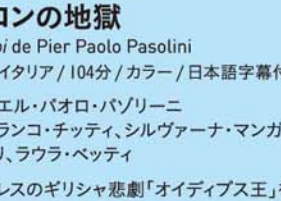


**男として死ぬ**  
*Mourir comme un homme de Joao Pedro Rodrigues*  
 2009年 / ポルトガル / 134分 / カラー / 日本語字幕 / ブルーレイ  
 監督: ジョアン・ペドロ・ロドリゲス  
 出演: フェルナンド・サントス、シャンドラ・マラティッチ、シンディ・スクラッシュ



**五月の雲**  
*Nuage de mai de Nuri Bilge Ceylan*  
 1999年 / トルコ / 120分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: ヌリ・ビルゲ・ジェイラン  
 出演: M.エミン・ジュライン、ムザファア・オズデミル、ファトマ・ジェイラン、M.エミン・トブラック

1963年イスラエル。東の間の平和な時期を背景に、数年前から成長することをやめた少年アーロン。両親とも新世代の若者とも相容れない繊細な心を持つ少年アーロンは、大人になると拒むように成長することをやめよう。バラバラな家族に反抗するため、それはいつか抵抗するため? コミカルな要素も加えながら、思春期の心の揺れを寓話的に描く。『私はいつも国家や社会を描くためには、個人の物語を語ることに、家族のなかでの関係というのを見せるのが有効だと思います。』(ニル・ベルグマン) 2010年東京国際映画祭グランプリ受賞作品。



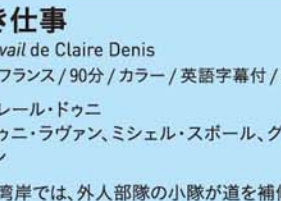
**ブレッド・ナンバー・ワン**  
*Bled Number One de Rabah Ameur-Zamech*  
 2006年 / フランス=アルジェリア / 97分 / カラー / 英語字幕 / 35mm  
 監督: ラバ・アメール・ザイメッシュ  
 出演: ラバ・アメール=ザイメッシュ、メリエム・セルバ、アベル・ジャフリ



**キャラメル** *Caramel de Nadine Labaki*  
 2007年 / レバノン=フランス / 96分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: ナディーン・ラバキ  
 出演: ナディーン・ラバキ、ヤスミン・アル=マズリー、ジョアナ・ムカルゼル、ジゼル・アウワード、シハム・ハッダード



**ヴォルテールのせい** *La Faute à Voltaire d'Abdellatif Kechiche*  
 2000年 / フランス / 130分 / カラー / 英語字幕 / 35mm  
 出演: サミ・ブアジラ、エロディー・ブシェーズ、オール・アディカ



**身をかわして** *L'Esquive d'Abdellatif Kechiche*  
 2004年 / フランス / 117分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 出演: サラ・フォレストイエ、オスマン・エルカラス、サブリーナ・ウアザニ



**クスクス粒の秘密** *La Graine et le mulet d'Abdellatif Kechiche*  
 2007年 / フランス / 153分 / カラー / 日本語字幕 / ブルーレイ  
 出演: アビバ・ブフォー、アフシア・エルシ、ファリダ・バンケタッシュ

2000年に長編三作目『クスクス粒の秘密』でも日常生活を生き生きと描き、そこから豊かな物語を生み出す才能を再び発揮し、ヴェネツィア映画祭で審査委員特別賞、国際映画批評家連盟賞など数々の賞を受賞し、主演女優のアフシア・エルシはマルチェロ・マストロヤンニ賞(新人俳優賞)を受賞する。セザール賞でも3年前に引き続き再び作品賞、監督賞、脚本賞の3部門を受賞するという快挙を成し遂げる。2010年、初めての時代劇となる『黒いヴィーナス』を発表し、ヴェネツィア映画祭に出品、話題を呼ぶ。2013年、ジュリ・マロの漫画『青は熱い色』を映画化した『アデルの人生(仮)』が第66回カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品。何年かに渡るふたりの女性の情熱的な愛の物語を描く同作は、その年のカンヌの批評家たちがほぼ全員一致で評価し、見事パルム・ドールを受賞した。



**永遠の語らひ**  
*Un film paré de Manoel de Oliveira*  
 2003年 / ポルトガル=フランス=イタリア / 95分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: マネール・オリヴェイラ  
 出演: カトリーヌ・ドヌーブ、ジョン・マルコヴィッチ、ステファニア・サンドレリ、イレーネ・ババス、レオノール・シルヴェイラ



**ブレッド・ナンバー・ワン**  
*Bled Number One de Rabah Ameur-Zamech*  
 2006年 / フランス=アルジェリア / 97分 / カラー / 英語字幕 / 35mm  
 監督: ラバ・アメール・ザイメッシュ  
 出演: ラバ・アメール=ザイメッシュ、メリエム・セルバ、アベル・ジャフリ



**キャラメル** *Caramel de Nadine Labaki*  
 2007年 / レバノン=フランス / 96分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: ナディーン・ラバキ  
 出演: ナディーン・ラバキ、ヤスミン・アル=マズリー、ジョアナ・ムカルゼル、ジゼル・アウワード、シハム・ハッダード



**ヴォルテールのせい** *La Faute à Voltaire d'Abdellatif Kechiche*  
 2000年 / フランス / 130分 / カラー / 英語字幕 / 35mm  
 出演: サミ・ブアジラ、エロディー・ブシェーズ、オール・アディカ



**身をかわして** *L'Esquive d'Abdellatif Kechiche*  
 2004年 / フランス / 117分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 出演: サラ・フォレストイエ、オスマン・エルカラス、サブリーナ・ウアザニ

2000年に長編三作目『クスクス粒の秘密』でも日常生活を生き生きと描き、そこから豊かな物語を生み出す才能を再び発揮し、ヴェネツィア映画祭で審査委員特別賞、国際映画批評家連盟賞など数々の賞を受賞し、主演女優のアフシア・エルシはマルチェロ・マストロヤンニ賞(新人俳優賞)を受賞する。セザール賞でも3年前に引き続き再び作品賞、監督賞、脚本賞の3部門を受賞するという快挙を成し遂げる。2010年、初めての時代劇となる『黒いヴィーナス』を発表し、ヴェネツィア映画祭に出品、話題を呼ぶ。2013年、ジュリ・マロの漫画『青は熱い色』を映画化した『アデルの人生(仮)』が第66回カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品。何年かに渡るふたりの女性の情熱的な愛の物語を描く同作は、その年のカンヌの批評家たちがほぼ全員一致で評価し、見事パルム・ドールを受賞した。



**永遠の語らひ**  
*Un film paré de Manoel de Oliveira*  
 2003年 / ポルトガル=フランス=イタリア / 95分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: マネール・オリヴェイラ  
 出演: カトリーヌ・ドヌーブ、ジョン・マルコヴィッチ、ステファニア・サンドレリ、イレーネ・ババス、レオノール・シルヴェイラ



**ブレッド・ナンバー・ワン**  
*Bled Number One de Rabah Ameur-Zamech*  
 2006年 / フランス=アルジェリア / 97分 / カラー / 英語字幕 / 35mm  
 監督: ラバ・アメール・ザイメッシュ  
 出演: ラバ・アメール=ザイメッシュ、メリエム・セルバ、アベル・ジャフリ



**キャラメル** *Caramel de Nadine Labaki*  
 2007年 / レバノン=フランス / 96分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 監督: ナディーン・ラバキ  
 出演: ナディーン・ラバキ、ヤスミン・アル=マズリー、ジョアナ・ムカルゼル、ジゼル・アウワード、シハム・ハッダード



**ヴォルテールのせい** *La Faute à Voltaire d'Abdellatif Kechiche*  
 2000年 / フランス / 130分 / カラー / 英語字幕 / 35mm  
 出演: サミ・ブアジラ、エロディー・ブシェーズ、オール・アディカ



**身をかわして** *L'Esquive d'Abdellatif Kechiche*  
 2004年 / フランス / 117分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 出演: サラ・フォレストイエ、オスマン・エルカラス、サブリーナ・ウアザニ

2000年に長編三作目『クスクス粒の秘密』でも日常生活を生き生きと描き、そこから豊かな物語を生み出す才能を再び発揮し、ヴェネツィア映画祭で審査委員特別賞、国際映画批評家連盟賞など数々の賞を受賞し、主演女優のアフシア・エルシはマルチェロ・マストロヤンニ賞(新人俳優賞)を受賞する。セザール賞でも3年前に引き続き再び作品賞、監督賞、脚本賞の3部門を受賞するという快挙を成し遂げる。2010年、初めての時代劇となる『黒いヴィーナス』を発表し、ヴェネツィア映画祭に出品、話題を呼ぶ。2013年、ジュリ・マロの漫画『青は熱い色』を映画化した『アデルの人生(仮)』が第66回カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品。何年かに渡るふたりの女性の情熱的な愛の物語を描く同作は、その年のカンヌの批評家たちがほぼ全員一致で評価し、見事パルム・ドールを受賞した。

# Rétrospective Abdellatif Kechiche

## アブデラティフ・ケシシュ監督作品



「こんなに猿に似た人間の顔を見たことは今までなかった。」1817年、パリ、国立医学アカデミーで、サーティエ・パートマンの身体を前にして、解剖主者のジョルジュ・クヴィエはきっぱりと述べ、その場にいた研究者たちはみな、彼の演説に拍手していた。足かせはめられながら自由である女性サーティエは、「ホッテントットのヴィーナス」と呼ばれ、いつかは上に昇ってゆきたいと夢を描く社会の底辺で暮らす人々々のアイコン的存在であった。『黒いヴィーナス』は完全なる暗さに包まれた作品であるが、激しい熱狂と、そして過激さを兼ね備えている。ピアロの『ヴァン・ゴッホ』以来の美しさを湛えているとさえ言えるだろう。(ジャン=バプティストモラン / 'レ・ザンロキュアティール。)

**プロフィール**  
 1960年12月7日チュニジアで生まれ、6歳の時に両親とともに南仏ニースに移住する。アンティープの国立演劇学校で学び、コート・ダジュールにていくもの舞台に出演する。自ら演出も手がけるようになり、1981年にアヴィニオン演劇祭でフェルナンド・アラバルの戯曲『建築家とアッシリアの皇帝』を演出する。映画では、アデルクリム・ハロルの『ミントティエ』に初出演し、アンドレ・テシネの『イノセント』(1987年)では、サンドリーヌ・ボネールと共演する。その後、自ら監督をめぐり、幾つもの脚本を準備するが、なかなか製作資金を得られなかったところ、『ヴォルテールのせい』の企画がプロデューサーの目にとり、2000年に念願がなって監督デビュー。ヴェネツィア映画祭にて最優秀処女作に与えられる金豹賞を受賞。2003年、新人の俳優たちと、非常に低予算で撮った『身をかわして』が、その年の他の多くのヒット作品を退け、セザール賞で最優秀作品賞、最優秀監督賞、最優秀脚本家、最優秀新人女優賞の4部門を総なめにする。

2006年に長編三作目『クスクス粒の秘密』でも日常生活を生き生きと描き、そこから豊かな物語を生み出す才能を再び発揮し、ヴェネツィア映画祭で審査委員特別賞、国際映画批評家連盟賞など数々の賞を受賞し、主演女優のアフシア・エルシはマルチェロ・マストロヤンニ賞(新人俳優賞)を受賞する。セザール賞でも3年前に引き続き再び作品賞、監督賞、脚本賞の3部門を受賞するという快挙を成し遂げる。2010年、初めての時代劇となる『黒いヴィーナス』を発表し、ヴェネツィア映画祭に出品、話題を呼ぶ。2013年、ジュリ・マロの漫画『青は熱い色』を映画化した『アデルの人生(仮)』が第66回カンヌ国際映画祭コンペティション部門に出品。何年かに渡るふたりの女性の情熱的な愛の物語を描く同作は、その年のカンヌの批評家たちがほぼ全員一致で評価し、見事パルム・ドールを受賞した。

ヴォルテールのせい La Faute à Voltaire d'Abdellatif Kechiche  
 2000年 / フランス / 130分 / カラー / 英語字幕 / 35mm  
 出演: サミ・ブアジラ、エロディー・ブシェーズ、オール・アディカ  
 ジャレルはフランスの地にチャンス求めて立ち立った。この地で成功を夢見たものの、次第にその幻想は崩れていく。いろいろな人とも出会い、施設や団体を転々とし、疎外された者たちの群を発見していく。当初抱いた夢は叶えられず、恵まれない者同士の間で彼はやがて見出すのだ。移民の青年の日常を描くというよくある社会的ドラマの枠にとまらず、異なる要素への繊細なる観察力によって豊かな物語が奏でられてゆく。ケシシュ作品を特徴づける俳優への魅力を十全に引き出す演出がすでにこの処女作にみとめられる。

身をかわして L'Esquive d'Abdellatif Kechiche  
 2004年 / フランス / 117分 / カラー / 日本語字幕 / 35mm  
 出演: サラ・フォレストイエ、オスマン・エルカラス、サブリーナ・ウアザニ  
 クリモは、パリ郊外のHLM(低所得者向け公営高層団地)に住む15歳の少年だ。いつかコトで世界の果てまで行くことを夢見ている。仲間たちと代わり映えない毎日を送っていたクリモは、活発でちゃめっけのある同級生のリディアに恋心を抱くようになる。彼女はマリヴォアの戯曲を公演するための練習に夢中。なんとカリディアの気を引こうと、クリモはアルカン役を演じることを決心するが…。2005年に作品・監督・脚本・新人女優の4つの部門でセザール賞を総なめにし、批評的にも大変高く評価された作品。「演劇が人生に活きているように、人生も演劇に属しているのだというノワール作品の大いなる教訓のひとつを確認している。」(ジャン=フランソワ・ロジエ)。

クスクス粒の秘密 La Graine et le mulet d'Abdellatif Kechiche  
 2007年 / フランス / 153分 / カラー / 日本語字幕 / ブルーレイ  
 出演: アビバ・ブフォー、アフシア・エルシ、ファリダ・バンケタッシュ  
 舞台の港町セートで港湾労働者として働くチュニジア移民の60代の男スリマヌ。年を追うごとに仕事はつらくなり、リストラの波も押し寄せる。前妻との間に子どもと孫がいるが、家族からは疎まれていると感じている。そんな中、彼は古い船を買い取って船上レストランを始めることを決意し、恋人の娘みだけが親身に手伝ってくれる。家族総出の開店パーティーの日、予定していたクスクスが届かない。家族は団結してなんとか窮地を切り抜けようとするが…。素人とプロの俳優たちを見事に共演させたケシシュ監督の緊張感溢れる演出によって、ヴェネツィア国際映画祭では、審査員特別賞や2008年セザール賞で4部門受賞、セザール賞でも再び3部門を制する。「アブデラティフ・ケシシュは、フランス映画の呪いの言葉のようになっている作家主義的映画と大衆映画という区別を壊したピアロの跡を、一人歩き続けている。」(ステファン・ドゥローム / 'カイエ・デュ・シネマ。)

黒いヴィーナス Venus noire d'Abdellatif Kechiche  
 2010年 / フランス / 164分 / カラー / 英語字幕 / 35mm  
 出演: ヤヒマ・トレス、アンドレ・ジャコブス、オリヴィエ・グルメ  
 「こんなに猿に似た人間の顔を見たことは今までなかった。」1817年、パリ、国立医学アカデミーで、サーティエ・パートマンの身体を前にして、解剖主者のジョルジュ・クヴィエはきっぱりと述べ、その場にいた研究者たちはみな、彼の演説に拍手していた。足かせはめられながら自由である女性サーティエは、「ホッテントットのヴィーナス」と呼ばれ、いつかは上に昇ってゆきたいと夢を描く社会の底辺で暮らす人々々のアイコン的存在であった。『黒いヴィーナス』は完全なる暗さに包まれた作品であるが、激しい熱狂と、そして過激さを兼ね備えている。ピアロの『ヴァン・ゴッホ』以来の美しさを湛えているとさえ言えるだろう。(ジャン=バプティストモラン / 'レ・ザンロキュアティール。)